

グランヂ・ヒオ 2017 年

“イヴェッチ、川からリオへ”

私の名前はイヴェッチ・サンガーロです。ありがたいことに、2016 年にアカデミコス・ド・グランヂ・ヒオのエンヘッドとして選定されました。それでは、愛とたくさんの情熱からなる私の来し方を皆さんにお話しするとしましょう。

私は、愛するバイアのジュアゼイロで生まれました。荒地の様子が記憶に残っています。灌木、道の土ぼこり、大きなサンフランシスコ川の流れ、釣り人のお守りである色とりどりのカハンカ（木彫り人形）にあふれるところ。小さな頃から、火の眼をもつ大蛇の伝説を聞かされてきました……

……昔々、かわいい女の子がいました。ある日、川の水面に映る自分の美しさに見とれているうちに、大事なアヴェマリアのお祈りの時間を過ぎてしまいました。そのせいで、女の子の姿は大きな蛇に変わってしまいました。そして大蛇となった彼女は、フォーゴ島（訳注：隣町ペトロリーナとの間を流れるサンフランシスコ川の中州）に隠れ住むようになりました。この大蛇は、漁師や船乗りや洗濯をする女たちを襲っていましたが、ノッサ・セニョーラ・ダス・グロタスが自らの髪 3 本で大蛇を巣に縛り付けてくれました。このうち 2 本は切れてしまい、そのときには大変な洪水がおきました。もし最後の 1 本が切れてしまったら、ジュアゼイロとペトロリーナの一体は一気に洪水にのまれてしまうことでしょう……

私の夢の中にノッサ・セニョーラが現れ、私の歌とエネルギーで大蛇と世界をおさめるようにと、最後の 1 本を託してくれました。この地域では巡礼が盛んで、人々は大いに祈ります。漁師や船乗りの安全を祈願して船をカハンカで飾る習慣もあります。この大事な 1 本の髪を手にも、私とグランヂ・ヒオは、祝祭とカーニバルと私のたくさんの世界旅行の、素晴らしい物語をお伝えします。

両親はとても仲の良い夫婦だったと記憶しています。父はスペイン系の行商人で、リボンがたくさんついた美しいギターをスペインから取り寄せていました。母はペルナンブーコ出身で、正確な音程の歌声と、ノリノリのフレーボのリズム感と、人生への情熱を備えていました。音楽会で子供たちや友達が集い、サン・ジョアオンの祭りでは私もクワドリリーヤを踊りました。カーニバルでは、クラブやブロッコ・ヂ・カレッタスの喧騒に飛び込んでいました。ジュアゼイロは、私を根っからのセルタネージャとして育て上げてくれました。小さい頃の音楽的そしてお祭りの体験を、両親から受けた愛と合わせて、私は深く記憶しています。

ジュアゼイロについては、乾いた大地と同様に青い空にまたたく星々のことも記憶しています。そして、その星々は私が学業を修めるべく移り住んだサルバドールの空にも同じようがありました。

“イヴェッチ、川からリオへ”

モラエス・モレイラのトリオ・エレクトリコのことよく覚えています。甲高いギターハが響く「ポンボ・コヘイオ」を聴いていました。そんな経験の後で、ドドー&オスマールのフォビカ(訳注: A型フォード...を改造したドドー&オスマールのトリオ・エレクトリコ)が、もう長いことみんなの間で大人気だということを知りました!それから何年も掛けて、私はリズムの海に身をゆだねるようになりました。ブロッコのパトウキ、バンドにトリオ・エレクトリコ、、、とにかく、サルバドールは魔法の国、音楽の万華鏡という感じでした!

お祭り騒ぎのサルバドールの道には、全てがありました。アパッシス・ド・トロロのようなブロッコ・ヂ・インヂオスの伝統。イレ・アイエやオロドウンのような、アフリカ起源のブロッコ・アフロ。平和のメッセージを伝えるアフォシェー・フィーリョス・ヂ・ガンヂ。街中が様々な色をまとい、空気が太鼓の音で満ち、オリシャの神々の不思議な力が人々を熱狂させる、、、それがバイーア・ヂ・トードス・オス・サントスでした、、、

美しいビーチと急な坂と素晴らしい人々の街に、私はすっかり魅了されました。それに、堂々たるたたずまいのセニョール・ド・ボンフィン教会、カポエイラ、サンバ・ヂ・ホーダ、アカラジェを売るバイアーナ、様々な美しいものに括りつけられたボンフィンのリボン、、、私はバイーアの喧騒にのめりこんでいきました!

家族への仕送り用にお金を稼ぐため、私はバールでギターの弾き語りを始めました。当時はちょうど、アシェー・ミュージックのブームがおき始めていた頃です。みんな、ルイス・カウダスの「フリコッチ」(歌詞のフレーズから「ネガ・ド・カベロー・ドゥーロ」として有名な曲)や、黒人とエジプト系のルーツを題材にしてオロドウンを全国的ヒットに持ち上げたマルガレッチ・メネゼスの「ファラオ」を歌っていました。

アシェー・ミュージックは、「カント・ダ・シダーヂ」のヒットとそれを歌った女王ダニエラ・メルクリによって全国的ブームとなりました。この嵐のようなブームの中、私はモーホ・ド・シャペウのミカレッタで、初めてのトリオ・エレクトリコに挑戦しました!

その後、サルバドールのカーニバルに向けて、バンダ・エヴァのボーカルに迎えられ、既に慣れ親しんでいた音とリズムの海にどっぷりと浸かり、そして、あのメロディアスな太鼓とチンバウの響きで私を揺さぶるチンバラダと出会いました。エレキギターとビリンバウとアゴゴと太鼓の音とともにアシェー・ミュージックはブラジル全土に鳴り響いていました!

やがて私たちも国中でみんなの記憶に残るようなヒット曲に恵まれて羽ばたきました。かなりロマンティックな面を表現しつつ、我々がトリオ・エレクトリコがサルバドールの道に持ち込んでいたようなエネルギーを備えた曲、、、「アロー・パイシャオン」、「ベレーザ・ハーラ」、「カーホ・ヴェーリヨ」。小さなエヴァという船が、ブラジルの空を飛んでアシェー・ミュージックのリズムを無限の高みへと運び、人気の音楽ジャンルとしての地位を確かなものにしていきました。世紀の変わり目の頃にもう一度、運命が私に試練を課してきました。ピカピカの宇宙船から飛び降りて、私はソロの航路へと漕ぎ出すことになったのです!

.....

私がバンダ・エヴァを脱退したのは 1999 年の灰の水曜日でした。そして、「カニバウ」を皮切りに、私は自分のレパートリーを増やし始めました。スイング色のある私の声もありますが、今でも大親友であるパートナーたちやファンのみなさんのおかげで、私は色々なジャンルに挑戦できました！2002 年には、「フェスタ」が自己最大級のヒットとなり、ゲッターの人々をとりあげた「ミストウランド・オ・ムンド・インテイロ」によって、私は全国区のスターの仲間入りを果たしました。こうして再びの好機を迎えつつ、キャリア 10 周年を記念して、かの不滅のカルメン・ミランダをオマージュして、「シカシカ・ボン・シッキ」を歌いました。さらに、わが国の文化を広めるべく、たくさんのお客を集めた国際的なショーに参加するなど、私は新たな役回りに挑戦し、活動分野を広げていきました。映画やドラマに出演したり、テレビ番組の司会を勤めたりしました。もちろん、音楽分野を諦めることなくです！（フェスタの歌詞に登場するような）「マン・プレッタ」から、バイアの母たちそして母性そのもののように、強いエネルギーを送ってもらいました。

.....

この道を歩んで、もう 20 年、、、という時に、私はアカデミコス・ド・グランヂ・ヒオに呼んでもらいました！

私はリオデジャネイロとその美しい自然を再認識しました。また、バイシャーダ・フルミネンセを歩きながら、カシアスの色鮮やかな市場で、東北部のフェイラのフォホーに出会いました！興奮しつつ、私はこの街にあるたくさんのお客のリズムに再会しました。ファンキ、サンバ、パゴーチ。こうしてカシアスは私の夢の世界となりました！私たちは力を合わせて、「ビリンバウ・メタリザード」の秘密ー純粋なバイアのカーニバルとヘビー・メタルのリズムの融合ーをお届けします。熱い人々に魅了され、私は「ムニト・オブリガード・アシェー」を歌いました。カリオカの地にあって、我が愛するバイアのオリシャの神々のことを称えながら！

最後尾の魔法のトリオ・エレトリコを迎え、私は思ったのです。「ソルチ・グランヂ（強運）」が来た！

音楽に関して私が感じ、忘れることのない愛。それは、ファンのみなさんが寄せてくださる愛です。ファンのみなさんは、私の智天使でありポップコーンのように弾けるお祭り集団であり、今回は、スタンドで大盛り上がりの観衆とも混ざり合い、二つの音楽界ーリオのマランドロ調のジンガと、バイアの官能的なリズムーの幸せな連合を祝うのです。やがて永遠のシンボルへと姿を変える大蛇の視線の下、星屑の土ぼこりを巻き上げて通りを満たして！

以上が、、、「イヴェッチ、川からリオへ」です！

ファビオ・ヒカルド(カルナヴァレスコ)
調査・文責 エレニーゼ・ギマランイス

サンバ・エンヘッド

作：パウロ・オンサ、カカー、チーニョ・アルチリグリー、フーベンス・ゴルヂーニョ、アラン・ヴァスコ
ンセロス、マルコ・モレーノ

グランヂ・ヒオがアシェーのシャワーを撒きに来た
救いあれ！これら信心深き全ての人に
インヴォカーダ(「キレたバテリア」)の太鼓が保証する
土埃をまき上げろ、イヴェッチ

輝け、私の星
私の行く道を照らせ
ジュアゼイロ出身の小さなバイアーナ
サウダーヂが薫りを送ってきた
シコ爺(サンフランシスコ川)、、、数々の物語に思い起こす
ノッサ・セニョーラがいつでも導いてくれる
厳しい日差し
乾いた大地、そうセルタオン
思春期に手に取ったヴィオラオン
フォホーを踊り、焚き火を飛び越えた。万歳、サン・ジョアオン
私の家族、甘いインスピレーション

そして私は行く、道に足を踏み入れて
私は行くんだよ、大事な人
不思議な大蛇の燃えるまなざしが
照らしたんだ、私の行く先、サルバドール

夜に歌った、欲しいものを捜し求めて
それはアレグリア！アレグリア！
ギターハ、フレーボ、太鼓には魔力がある
イエー、バイアー！イエー、バイアー！
エヴァと一緒に、街中を魅了した
トリオ・エレクトリコに乗って、群衆を引き連れて回った
歌うんだ、私の真実を、アフリカらしさを
感情の混交を
私のチンバウ、、、、国際的なヒットになった
世界の舞台上、スターダム、表彰
マンイ・プレッタ、その子守唄のおかげで
私も「母ちゃん」、国中を揺らした
コミュニティ、ゲットーの人々、私もそう
カシアスに抱かれた